



さくら会だより

Vol.9



2023年2月

春なお浅く、余寒が身に染みる昨今ですが、みなさまお元気にされていますでしょうか。

昨年11月23日に2年ぶりのホームカミングデーを開催いたしました。

今回はコロナ禍ということもあり、皆様をご招待することが出来ず申し訳ありませんでした。

ホームカミングデーには多くの方が参加してください、1部・2部と2回に分けて開催致しました。

今回はホームカミングデーのハガキのQRコードにメールアドレスを送ってくださった方にはさくら会だよりをメールにて送らせていただきます。今回招待学年の皆さんでメール登録してくださった方にもさくら会だよりを送らせていただきます。



「あなたは大切な人」ヨハネの手紙— 3章1節

捜真バプテスト教会牧師 小野 慈美

＜迷子の羊のたとえ＞

ルカによる福音書には、有名なたとえ話があります。一人の羊飼いが、百匹の羊を飼っていました。一匹の羊がいなくなりました。すると、羊飼いは九十九匹を野原に残して、いなくなった羊を探しました。そして、見つけると羊を担いで家に帰ってきて、近所の人たちと一緒に大喜びしました。

羊飼いは、「九十九匹を野原に残して」一匹を捜し回りました。これは、九十九匹がどうなってもよいということではなくて、羊飼いににとっては、失ってもよい羊など一匹もないということです。羊飼いは一匹一匹に名前をつけていました。いなくなった羊の代わりは誰もできない。だから、どの一匹がいなくなってもこの羊飼いは同じことをするはず。この「羊飼いは」は「神様」を表しており、「羊」は「わたしたち」人間を表しています。

現在の世界の人口は80億人です。ですから一人の人間は「80億分の1」です。しかし、神様の見方は違います。神様は人間を「1分の1×80億」と見ていてくださいます。神様は私たち一人ひとりの名前を知っておられ、愛をこめてあなたの名前を呼んでおられます。そして、あなたが神様の愛に気が付いて返事をしてくれることを待っています。



(1部 2・3年生が参加 子どもたちは礼拝堂・保護者の方には1階ホールにて参加して頂きました)



<新聞記事より> 「不登校の子が姿見せ、泣いた教師」(朝日新聞「声」より)

わたしが小学四年のとき、クラスの中に不登校の子がいた。彼はクラスメートからばい菌扱いをされていて孤独だった。わたしは彼を哀れに思いながらも、かばいもせず笑っていた一人だった。担任だった先生は、たびたび彼の自宅に行ってきたことをわたしたちに話した。報告を聞いたたびにわたしたちは心のどこかで反省していた。不登校になって半年が過ぎた頃、彼が先生の働きかけもあってか、ひょっこり登校してきた。わたしたちは彼を久しぶりに見て驚いたが、ばつが悪くて何となく放っておいた。先生は朝の出席を取りながら、彼の名を呼んだ後、しばらくだまってしまった。何事だろうと先生の顔を見ると、ぼろぼろと涙をこぼしているではないか。おとなの男性が泣く姿など初めて見たわたしたちは、どぎもを抜かれた。「君が学校に来てくれて本当にうれしいんだ。このクラスは君がいて、この人数でやっと一つのクラスなんだ。」先生は泣きながらやっとこの言葉を言って、また出席を取り始めた。みんな黙っていた。それ以来、彼がいじめられることはなかった。わたしたちは、いじめがいかにくだらなく悲しいことであるのか、先生の涙を見て学んだ。

この先生の心の中には羊飼いと同じ思いがありました。不登校の子も、自分の存在が大切にされていることを知って喜んだことでしょう。そして他のこどもたちも、つまりいじめをしていた子たちも、その先生から問題児として排除されるのではなく、自分もこの先生に大切に思われているのだとわかったことでしょう。あの不登校の子を大切にしている先生は、自分をも大切にしてくれているんだ。言い換えれば、先生はあの不登校の子だけを特別扱いしているのではなく、自分もまた特別な者として大切にしてもらっている。そのことに気が付いたとき、いじめることがいかに無意味なことであるかということがわかったのです。

<あなたは、王子であり王女です>

「御父がどれほどわたしたちを愛してくださるか、考えなさい。それは、わたしたちが神の子と呼ばれるほどで、事実また、そのとおりです。」(ヨハネの手紙一 3章1節)

皆さんは世界の王、まことの王である神の子だと言われています。ですから、あなたは、王子であり、王女です。あなたの頭の上には、王子、王女のしるしである冠が載っています。私にはそれが見えます。



ただ、覚えておいてほしいことがあります。そのせっかくの冠が輝きを失う場合があるということです。

①第一は、自分なんかだめだと思うときです。

神様は、あなたが優等生であろうとなかろうとあなたを大切に思っていてくださる。だから、自分なんかだめだと決めつけたら、神様が悲しまれます。あなたの頭には「神の子」と刻まれた冠が載っていることを忘れないでください。

②第二は、他のお友達を傷つけるときです。

他のお友だちにも冠が載っていることを忘れて、「お前なんかいないほうがいい」などと言うとしたら、神様がとても悲しまれます。そのとき、そういう言葉を口にしたあなたの冠が輝きを失うのです。

仮にあなたが、誰かのことを好きになれなくても、そのお友達も神様から愛されている「神の子」であり、頭には冠が載っているととても大切な人だということだけは忘れないでいてください。



(2部 10歳・20歳のご招待学年に参加して頂きました)

今回20歳のご招待させていただいた時の担任の先生

認定こども園捜真幼稚園旧教職員 垣立 妙子



コロナ禍で、ホームカミング開催の準備にあたってくださったさくら会の方々、素敵な会をどうもありがとうございました。

幼稚園で共に過ごした園児たちが、立派な大人に成長している姿をみることが出来、本当に感無量でした。自分の夢に向かって学びを続けている姿にふれ、胸がいっぱいになりました。

再会の喜びを共に味わうことができ、心あたたまる幸せな時間となりました。本当にありがとうございました。

認定こども園捜真幼稚園旧教職員 北村由美子



久しぶりにお会いする方々とともに、恵みのひとときをいただきました。ありがとうございます。

退職してからは、手元に届く広報や新聞などの記事にある名前を見ては、もしかして卒業生かな？と思いを馳せる日々を過ごしています。

卒業生にお会いするとき、私には二つのふるえる思いがあります。一つは、卒業されて〇年後の方々に前に、「えっ、あの〇〇ちゃん!?〇〇くん!」驚きと感動の思いです。もう一つは、当時の状況の中で精一杯だったけれど、未熟な私でごめんなさい、という思いです。時を経て、成長された方々にお会いできたのは、とてもありがたいことでした。卒業生皆さんの歩みを応援しています！

会を実施するにあたり、感染の広がりが心配される中、計画・準備をしていただき、感謝です。

卒業生、保護者、職員皆さまの健康が守られますよう、お祈りしています。

♪ ♪ コンサート ♪ ♪

今回は さくら会会員でもある 2006年度卒業生の 高橋 千春さんによるパイプオルガンのコンサートが開かれました。

曲 パイプオルガン演奏:「起きよ」と呼ぶ声 J. S. バッハ
プレリュードハ長調 J. S. バッハ

千春さんの演奏に皆静かに聞き入っていました。



幼稚園の時の担任の先生(北村由美子先生)からお花のプレゼント 🌸



ホームカミングデーには10歳・20歳になった学年をご招待しています。ご招待した学年の関係のある方に催し物をしていただいています。



第61回卒業生



第62回卒業生



第 51・52 回卒業生

ホームカミングデーに参加させて頂きました、久賀谷知彌です。先日は、ありがとうございました。久しぶりに、幼少期の思い出がたくさん詰まった捜真幼稚園という場所で、懐かしい友達に会って元気そうな姿を見ることができ、またお世話になった先生方に成長した姿をお見せできて、とても楽しくあっという間に時間が過ぎ去ってしまいました。就職してしまい予定がなかなか合わなかったり、そもそも連絡先を知らなかったりで、なかなか再会する機会がこれまで無かったので、雨の中でも、今回このような時間と場所を設けて下さったことに、感謝いたします。ありがとうございました。友達たちと話をしていると、意外にも、同じ予備校や大学に進学していたり、将来同じ様な進路を目指していたりと、時間が経って離れ離れになってからも、どこかで接点があって繋がっていることを知り、これもイエス様が私達のことを今でもお導き下さっている証なのかなと思いました。大学生になりイエス様の教えを日常的に受けなくなった今でも時折昔歌った賛美歌の歌詞が思い出されることがあるのですが、久しぶりに参加させて頂いた礼拝はやはり新鮮で、賛美歌や美しいパイプオルガンの音色がとても懐かしく感じられ、故郷に帰ってきたような、とても暖かいホッとした気持ちになりました。またいつか、クリスマス礼拝の様な機会の折に、お伺いできればと思います。本当にありがとうございました！

第 52 回卒業生 水野 由麻

先日は素敵な会を催して下さいありがとうございました。
卒業から15年以上たっても、こうして集まれる機会があることを嬉しく思います。15年ぶりに会う先生が当時のことを覚えていて下さったのには大変感動致しました。また久しぶりに会う友人たちとはいくら話しても話足りないほどでした。
またこのような機会があれば是非参加したいと思います。
今後ともよろしくお祈りします

第 51 回卒業生 久賀谷知彌



1部の様子



当日はたくさんの方にさくら会に入会していただいたこと感謝いたします
まだ、入会がお済でない方はいつでも入会できますので、よろしくお願いいたします。

2部の様子



プログラム



〈礼拝〉

前奏 最愛なるイエスよ、我らここにつどいて J.S.バッハ

讃美歌 ♪あそんでいても

お話 「あなたは、たいせつなひとです」 小野 慈美 牧師

お祈り

讃美歌 ♪かみさまにかんしゃ

祝 禱

後 奏

司会 太田 陽子(さくら会会長)

奏楽 高橋 千春(2006年度卒業)

《捜真バプテスト教会礼拝堂》

〈挨拶〉寺田 千栄(認定こども園捜真幼稚園 園長)

〈教職員紹介〉

〈招待学年の紹介〉

〈う た〉♪そうしんようちえん の うた

〈コンサート〉パイプオルガン 高橋 千春(2006年度卒業生)

〈閉 会〉お祈り 太田 陽子



ホームカミングデーのプログラム表紙はいつも旧職員北村由美子先生デザインによるものです。

今回はドングリ?幼稚園のしいのみでしょうか。

この数を数えると創立何年かがわかります。そんな細かい心遣いがされてます。

由美子先生 いつもありがとうございます。

❀ 次回のホームカミングデーは2023年11月23日(祝)に予定しています。

次回の招待学年 20歳 2007年卒業 年長担任 岡野きよみ先生・佐野聖子先生【旧姓田村】

2008年卒業 年長担任 北村由美子先生・垣立妙子先生

10歳 2017年卒業 年長担任 原田祈先生【旧姓田中】・込山みのり先生【旧姓飯田】

2018年卒業 年長担任 勝村日向子先生・山本千尋先生

現在1年生・現在年長の方 (こちらの学年の方は保護者の付き添いが必要となります)

❀ 5月3日(祝)に教会バザーを予定しています。さくら会も参加しております。

お時間のある方は是非お立ち寄りくださいませ。

詳しいことは近くになりましたら捜真バプテスト教会のホームページをご覧ください。

❀ お知り合いの方でまださくら会に入会されていない方がいらっしゃいましたら是非お誘いください。

♡プログラム表紙デザイン

北村 由美子

♡写真撮影

嶋田 聡



🌸 さくら会からのお願い

ホームカミングデーのお知らせや🌸さくらだより🌸を今までお手紙にてお知らせさせて頂きましたが、今回からメールにてお知らせさせて頂きたいと考えています。(メール登録されてる方)
以前、入会時にメールアドレスを記入して下さった方も申し訳ありませんが登録をお願いいたします。
いずれはすべての皆さんにメールでお知らせできたらと思っておりますので、上記の QR コードからメールアドレスの登録をお願いいたします。